

広報版

# 信濃小中学校だより そよげわか竹

## 「信濃町の民話巡り」 信濃小中学校2学年



黒姫童話館野見学

2年生は「ふるさと学習」として、信濃町の民話の地巡りを学習してきました。黒姫童話館学芸員の山原清孝さんに教えていただきながらの学習は、「信濃町にはこんなにたくさんさんの民話があったのか、信濃町ってすごい」「信濃町に生まれて良かった」という信濃町の良さの再発見があり、とても楽しく有意義なものでした。

学習の始まりは6月に行われた劇団くるま座の「児雷也」の演劇でした。このことで子どもたちは信濃町の民話に興味をもちました。そして黒姫童話



赤地蔵（石橋）の見学

館の山原さんに「日本や世界の民話・信濃町の民話」についてお話をしていただきました。その中で信濃町の民話と今も残る民話の舞台といわれる場所を紹介していただき、「信濃町の民話巡り」の学習への期待感が高まりました。

7月には、学級ごとに、スクールバスで民話の地を巡りました。「石橋の赤地藏」、落影の「鍋山」、古間の「うん太郎」のお話に出てくる薬師山、柴津の「姫の泣き石」、古間保育園の裏の「木につながれた馬頭観音」、柏原小丸山公園の「一茶の句とお相撲さん」、柏原の「柏原の金比羅さん」の



柏原の金比羅さん（柏原）の見学

地を巡りました。山原さんにも同行していただき、場所ごとに民話にまつわるお話をしていただきました。子どもたちは山原さんのお話をよく聴き、子どもなりに納得してうなずいていました。

また、巡る前に、朝の読書の時間等に「信濃町の民話」を一話ずつ読み合っていましたので、「あのお話はこの場所のお話だったんだ。」と、こんなに身近に民話の地があることに子ども達はとても驚いていました。そして、ますます信濃町の民話の世界に親しみをもつようになりました。



弁天島（野尻湖）の見学



姫の泣き石（柴津）の見学



薬師山（舟岳）登山

9月には、学年で野尻の「野尻湖の主」、管川の「美しい山の神様」の地や、うん太郎が作ったと言われている弁天島を巡ってきました。9月のさわやかな風に気持ちよさを感じ、学習を深めることができました。このときにも山原さんに同行していただき、民話について詳しくお話をさせていただきました。

10月の遠足では小林一茶もトチバナシジンを求めて登ったと言われる薬師山に登りました。薬師山で木が生えていないところがありま



県立長野図書館で桃太郎の学習

すが、うん太郎がそこに寄りかかったためだと言われています。小林一茶やうん太郎のことを思いながら登りました。20分ほどで頂上に着きました。頂上には薬師如来や水が涸れないと言われている井戸や小さなほころなどがあり、少しミステリアスな感じで、民話の世界を満喫できました。

さらに、もっと詳しく民話のことを調べるために、子ども達は「県立長野図書館へ行きたい」と願いをもちました。そこで、民話の学習と並行して県立長野図書館へ行

くための学習も進めました。切符の買い方、長野駅から県立図書館までの道順、電車の内でのマナーなど自主的な調べ学習を進めました。1組2組別々の日に行ったのですが、それぞれ多くの民話を読むことができました。また、併せて県立図書館の中も見学でき、子ども達の願いを達成するよい学習ができました。

山原さんには学習を進める中で何回もお世話になりました。そこで、12月には「山原先生ありがとうの会」を行いました。山原さんは終始穏やかな笑顔で、子ども達の発表を楽しんでくださいました。民話巡りでは、子ども達のこれまでのまとめを織り交ぜながら、山原さんと一緒に訪れた民話ゆかりの地を振り返りました。生活科や図工の授業で班ごとに作った紙芝居をご披露することもでき、子ども達はとても満足しました。